

# 学 園 だ よ り

平成 29 年 11 月 1 日 発行  
公益財団法人  
中国四国酪農大 学 校  
電話 (0867) 66 - 3651  
FAX (0867) 66 - 3652  
E-mail info@rakudai.ac.jp  
http://www.rakudai.ac.jp



53 期 生 ひ る ぜん ワ イ ナ リ ー に て

# 卷頭の言葉

校長 山田義和



蒜山の地は虫の音も聞こえなくなり、肌寒い日が続き、冬の訪れを感じる季節になってきました。先般の台風21号の影響で残っていた第二牧場のポプラが2本倒壊し、牧草地の端に植えていた桜の木も数本倒れましたが、施設、牛たちに大きな影響もなくホツとしていたるところです。

今年の学校行事ですが、4月6日に、第53期生28名の入学式が、多くのご来賓のもと、盛大に挙行されました。今年には日陰に残雪があり肌寒いで、の挙式となりましたが、今年も新入生は東は東京都から

西は沖縄県まで広範囲にわたり、大きな夢を抱いて入学してくれました。

2年生は、例年どおり校外研修が始まり、期待と不安を覗かせながら全国各地に散っていきました。研修を終えて帰校する学生の逞しい姿を楽しみにしているところです。

いま酪農情勢は、副産物である子牛の価格高騰、乳価のアップ等により一息ついていく状況ですが、アメリカのTPP離脱と2国間協議のゆえ、後継者不足などによる廃業農家の増加など先行き不安な材料も多くあることから予断を許さない状況にあります。

このような状況の中ですが当大学校では昨年度に引き続き、明るい話題があります。

第一に1月16日に当大学校

の第二牧場が、農場HACCPの認証農場として認証されたことです。農場HACCPの認証取得は岡山県で初めて、かつ教育機関では全国初の快挙となりました。今後はHACCP手法による農場管理のレベルアップを図るとともに、学生への実践教育や酪農フィールド研修を通じて社会人等に教授することにより、農場HACCPが広く波及することを目指します。

第二に生乳出荷先であるおかやま酪農業協同組合が実施している乳質改善事業で第二牧場が10年連続優秀表彰を受けたことです。成分的乳質はもちろんのこと衛生的乳質の厳しい基準を10年間クリアできたことは、職員の指導力と学生の実習に対する真面目な取り組みの賜であり、頼もしく思っています。

第三に昨年10月に開催された岡山県畜産共進会において、ジャージーチャンピオンを獲得するとともに、今年

4月に開催された蒜山高原ジャージースプリングシヨウにおいて、ジュニアのグラントチャンピオン、シニアのグランドチャンピオン、リザーブチャンピオンを獲得し、4タイトルのうち3タイトルを独占したことです。ホルスタイン種においても4月に開催された中国地区B&Wシヨウで2部門のチャンピオンを獲得しています。

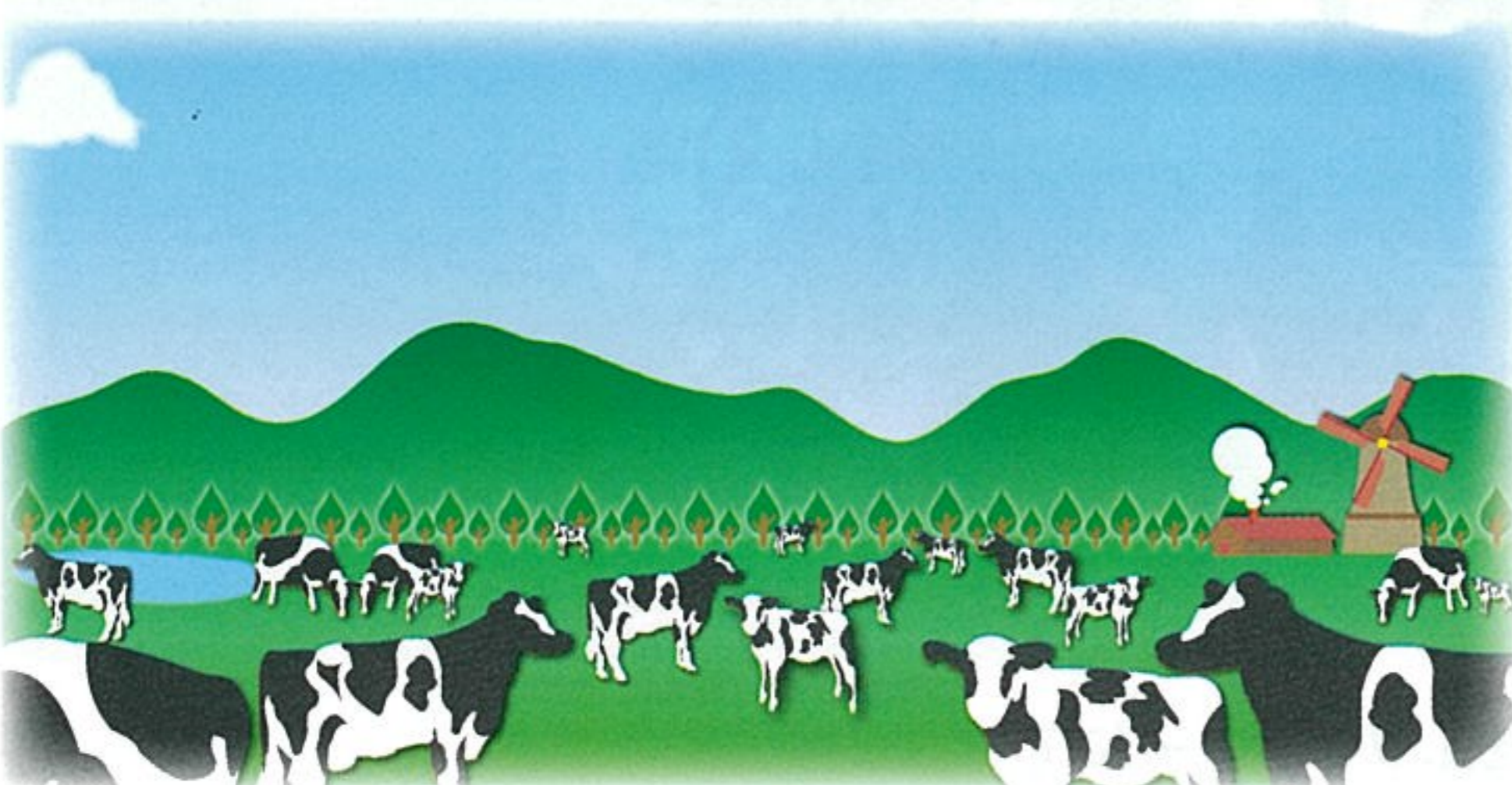
第四に中国ブロック意見発表会と中国四国ブロックプロジェクト発表会で優秀な成績を収め、全国大会へ選出されたことで、各分野での活躍を誇りに思っています。

本校は、西日本唯一の酪農の専門技術者教育機関として、学生、酪農関係業界、消費者等にとって魅力ある学校づくりを進めるとともに経営基盤の強化を図り、健全な運営に努めていきますので、引き続きご支援とご協力をよろしく願います。

結びに、学生たちは、卒業生の皆様の背中を見ながら夢

の実現に向けて頑張っていますので、健康に留意され引き続き地域酪農の牽引役として活躍されることを期待しています。蒜山にお越しの際は、ぜひ本校にお立ち寄りください。

お待ちしております。



# 職員紹介

校長 山田義和  
 副校長 秋山俊彦  
 (総務課長兼務)

## 総務課

係長 有富英美

## 教務科

教務課長 関 哲生  
 (第一牧場長兼務)  
 主任 高見奈々  
 主任 田中 恵  
 臨時職員 法花千恵美  
 調理技術員 谷口育子  
 臨時職員 小椋麗子  
 臨時職員 西田 都

## 第一牧場

臨時職員 樋口照夫

## 第二牧場

場長 芦田草太  
 技師 村田崇浩  
 技師 山田祐季

## 農場(圃場)

場長 長綱則之  
 技師 池田良弘

# 酪大ニユース



### ○十年連続乳質表彰

高品質な生乳を生産する技術を伝えるべく、昨年度同様、各牧場で乳質の目標値を設定し、実習に取り組んでいます。近年は乳量増による管理の難しさからか、思うような成績が得られないことが多いですが、今回も乳質表彰を受けることができました。

### ○また、第2牧場では経産

牛1頭あたり生乳生産量が7600kgを突破し、乳量、乳質ともに好成績を修めています。今後も継続してより高い目標を達成する努力や工夫を伝えていきたいと考えています。

### ○草地利用の最適化を目指して

本年度は天候にもある程度恵まれ、比較的順調に収穫作業が進められました。また、本年度からは飼料設計を適切に行うため、全草地において収穫時に成分調査を行うことにしました。その結果、収穫時期によつては、よいものは粗タンパク含量18%程度のものも収穫されており、今後は収量と成分の両面から草地利用の最適化を目指したいと考えています。

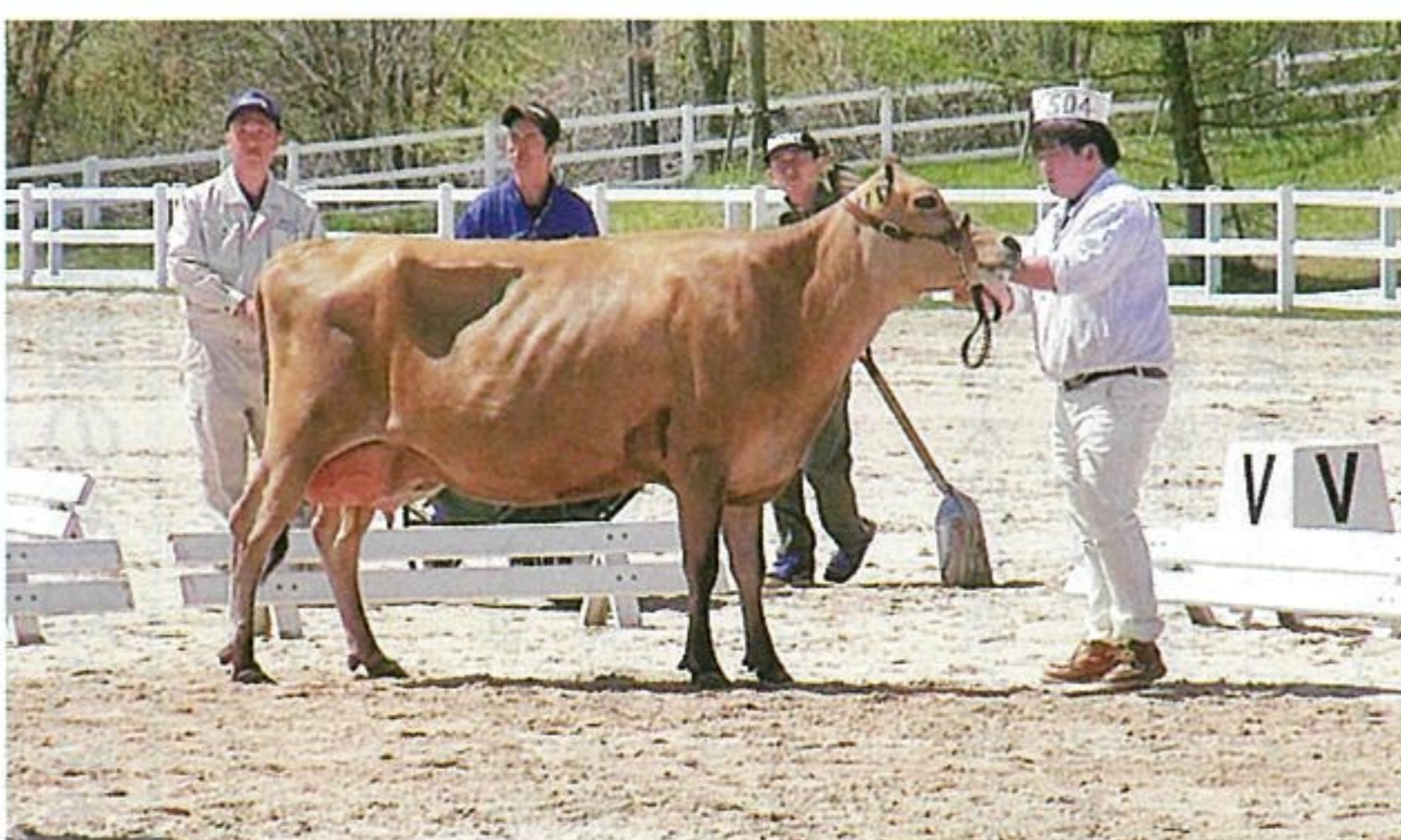
### ○セントラルジャパンに出品

4月14～15日に静岡県御殿場市で開催された第2回セントラルジャパンホルスタインショウに第1牧場の育成牛2頭を出品しました。



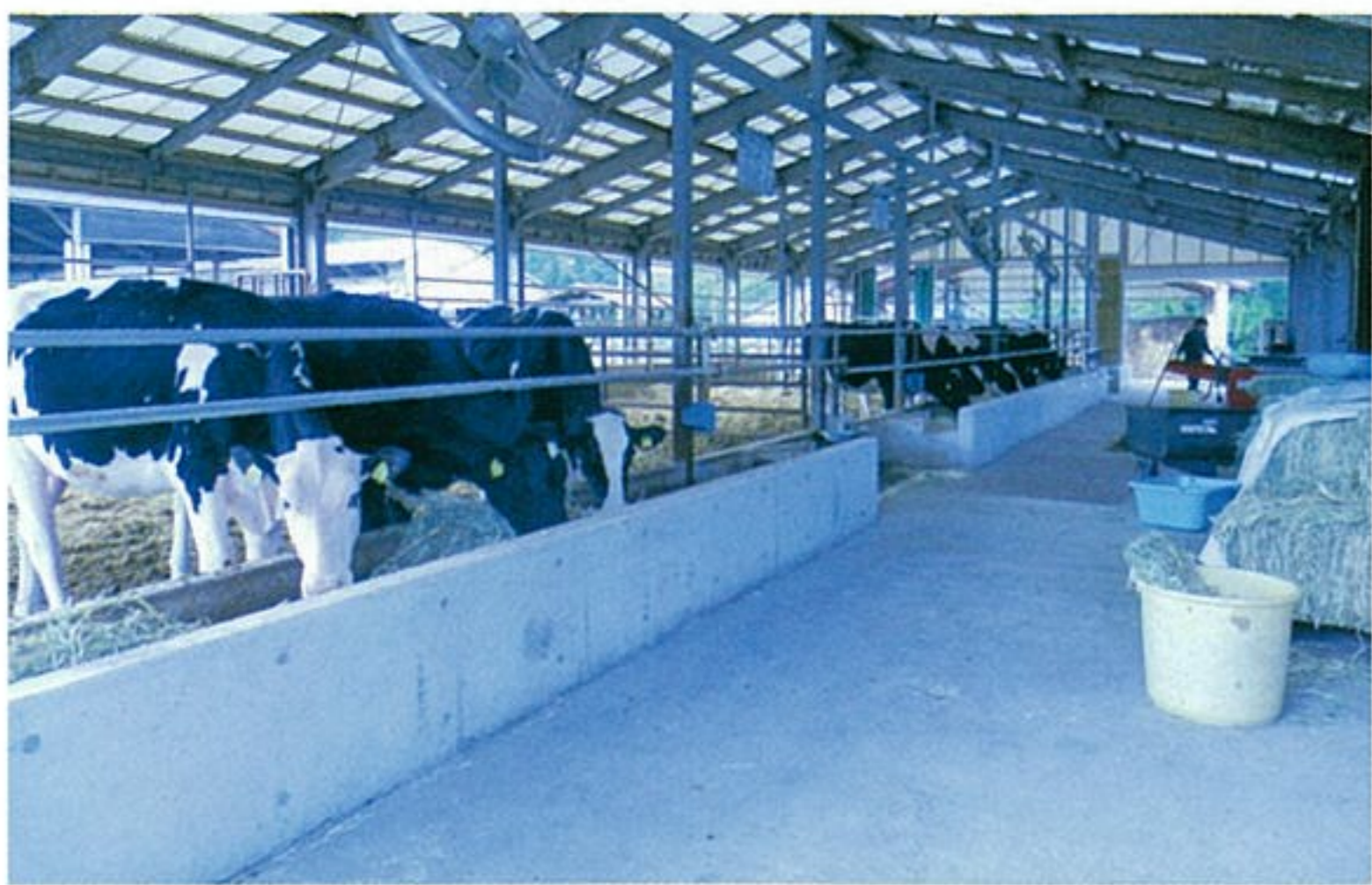
### ○Jスプリンググランドチャンピオン獲得

4月28日に蒜山ホースパークで行われたジャーリースプリングショウでは、第2牧場から7頭(未経産牛3頭、経産牛4頭)を出品し、とても良い成績を残すことができました。中でも、カヤベ エリザベータ バーブ メロデイ号につきました。スプリングショウ念願のグランドチャンピオンをいただくことができました。(詳細につきましては、本校HPに掲載されています。)



○育成牛舎を改善しました

従前から、第1牧場で管理する繁殖和牛から受精卵を採取し、第2牧場のジャージー牛に移植して、生まれた和牛子牛を第1牧場で育成して和牛市場に出荷していましたが、和牛繁殖を目指す学生の増加に対応し、和牛繁殖育成部門を拡充するため、従来ホルスタイン育成牛を管理していた牛舎を改善し、和牛子牛を管理できる体制を整えました。これにより、6頭の繁殖和牛から定期的に採卵し、年間30頭程度の和牛子牛出荷を目指します。



○五世代を繋養中

第1牧場ではセイエラファミリー五世代を繋養しています。(写真右から)

(写真右から)

\*カヤベ セイエラ DB テラ (ダイヤモンドバック)

第72回岡山県共進会 ジュニアチャンピオン

\*カヤベ セイエラ アイオーンヴェントス(アイオーン)

第32回中国BW インターミデイエイトリージャーブチャンピオン

第14回北海道全共出品

\*カヤベ セイエラ ブラクストンソル(ブラクストン)

第68回岡山県共進会 ジュニアチャンピオン

第14回北海道全共出品

\*カヤベ セイエラ バーンズステラ(ミスターバーンズ)

\*カヤベ セイエラ ローズアルパイン(アップローズ)

職員異動のお知らせ

今年度より、田中主任が教務課に配属されました。

静岡県出身の田中恵(たなか めぐみ)です。鳥取大学獣医学部出身、ピチピチムチムチのギャルです！(本当はアラサー)

岡山県農林水産部畜産課所属、県職7年目です。昨年度までは真庭家畜保健衛生所にいました。趣味は消しゴムハンコ彫り。寂しがり屋なので、飲み会とか大好きです！

酪大にいる間に繁殖管理ができるようになりたいです。あとは、騙されないように気をつけること(教務課長に「和牛の共進会には『牛タンの部』があるんだよ」と言われてすっかり信じてしまったという前科あり)と、学生に間違われなようなオーラを身につけたいです！

田中主任、これからよろしくお願いします！



CHUGOKU SHIKOKU COLLEGE OF DAIRY FARMING

平成  
**30**年度

# 学生募集

■推薦入試

受付期間:平成29年10月1日~10月16日

試験日:平成29年10月27日(岡山会場)

10月30日(本校会場)

■一般1次募集

受付期間:平成29年11月13日~24日

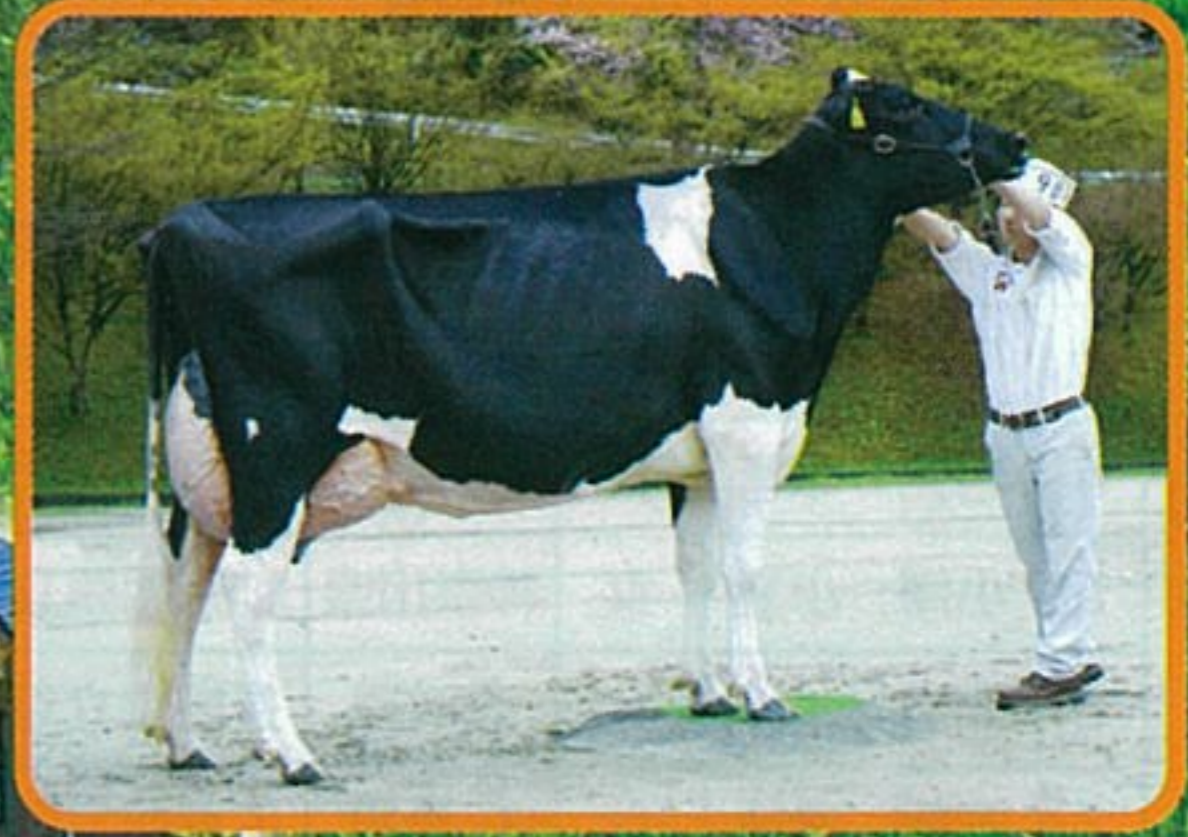
試験日:平成29年12月4日

■一般2次募集

受付期間:平成30年2月1日~19日

試験日:平成30年3月5日

牛たちとのふれあい、  
仲間との楽しい時間。  
大自然の中、一生に残る  
2年間で酪農経営力を  
身につけてみませんか?



平成29年

## オープンキャンパス

第1回予定日

7月20<sup>(木)</sup>日~21<sup>(金)</sup>日

第2回予定日

8月24<sup>(木)</sup>日~25<sup>(金)</sup>日

2年間で酪農経営力を  
身につけます!

酪農に必要な資格が  
取得できます!

奨学金の制度も  
あります!

公益財団法人

# 中国四国酪農大学校

SEARCH!

中国四国酪農大学校

GO!

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632 TEL (0867) 66-3651 FAX (0867) 66-3652